

報道関係者各位

日本・オーストリア友好150周年／ 宝塚市・ウィーン市第9区 姉妹都市提携25周年記念コンサート ヨーゼフ・ラスカ 音の架け橋

日本・オーストリアが正式に外交を開始して今年で150年、また宝塚市とウィーン市第9区の姉妹都市提携25周年となることを記念し、11月7日（木）に宝塚ベガ・ホールにおいて標題のコンサートを開催します。

このコンサートでは、ウィーンを中心に活躍する3名の音楽家により、日本とオーストリアの架け橋となった数々の曲が演奏されます。

今回の演奏曲は、東京音楽学校の初代外国人教師となったオーストリア人のディットリッヒ、彼の推薦でウィーンに留学した幸田延（幸田露伴の妹）、ウィーンで彼女の指導を担当したフックス、東京音楽学校で幸田延が育てた滝廉太郎、山田耕筰などによるものです。

中でも、宝塚と関係が深いのが1923年に来日したヨーゼフ・ラスカ（1886-1964）です。関東大震災のために予定していた行き先も仕事も失ったラスカは、宝塚音楽歌劇学校（当時）の教授となり、女学生を教えるだけでなく、宝塚歌劇オーケストラの前身である宝塚交響楽団も指揮し、そのレベルアップに貢献しました。ラスカは同交響楽団の、少女歌劇の伴奏以外の音楽活動において、モーツァルトやブルックナーの作品を本邦初演するなど意欲的に活動し、日本を離れるまでの12年間に、80回を超える演奏会で指揮を務め、日本におけるクラシック音楽の発展に大きく寄与しました。

今回の演奏会では、日本の古典文学に深い関心を示したラスカが、万葉集や芭蕉の句をドイツ語に訳し、作曲した歌曲も演奏されます。ラスカの功績や作品を掘り起こした根岸一美大阪大学名誉教授のお話も交えてお届けします。

貴媒体におかれましても、この公演を取り上げていただければ幸いです。



- 1 公演名 日本・オーストリア友好150周年記念コンサート／宝塚市・ウィーン市第9区 姉妹都市提携25周年記念公演
阪急宝塚線ミュージック駅伝MOT！参加事業
ヨーゼフ・ラスカ 音の架け橋
- 2 日時 令和元年（2019年）11月7日（木） 19:00開演（18:30開場）
- 3 会場 宝塚ベガ・ホール（宝塚市清荒神1-2-18／阪急宝塚線清荒神駅下車すぐ）
- 4 出演 日野 妙果（メゾ・ソプラノ）、前田 朋子（ヴァイオリン）、ヨハネス・ヴィルヘルム（ピアノ）
- 5 入場料 〈一般〉4,000円 〈学生〉2,000円（当日各500円増）【全席自由】
- 6 主催 日本・オーストリア友好150周年記念コンサート実行委員会
- 7 共催 （公財）宝塚市文化財団
- 8 制作協力 おふいすベガ
- 9 お問い合わせ （公財）宝塚市文化財団（日・祝休み） 事業担当：岡田
TEL:0797-85-8844

プログラム（予定）

【明治の日本からウィーンへ、官費初の留学生とその師】

幸田 延／ヴァイオリン・ソナタ第1番

ロベルト・フックス／ヴァイオリン・ソナタ第2番 二長調 作品33

【オーストリアから来た音楽家たちが日本でみたもの】

ヨーゼフ・ラスカ／万葉集歌曲

ヨーゼフ・ラスカ／《7つの俳句》ソプラノ・フルート・ピアノのための ※ヴァイオリン版

ルドルフ・ディットリッヒ／Koi to yu ta to te（来いというたとて）

Sessesse（せっせっせ）

Hine-Matsu（姫松小松）

O Yedo Nihon-Bashi（お江戸日本橋）

【開花する日本の西洋音楽】

滝 廉太郎／花、納涼、荒城の月

山田耕筰／からたちの花、鐘が鳴ります、南天の花

【ウィーンと宝塚を結ぶうた】

フランツ・デーレ／すみれの花咲く頃

ルドルフ・ジーツインスキー／ウィーン、わが夢の街